

元気な根づくりで、料理の楽しみがグンと広がる

■ ハクサイだって、 甘くみずみずしく大変身

おいしい野菜づくりの秘密は元気な根づくりにありそうです。そのためには、どんな土がふさわしいのでしょうか。ハクサイ畑で考えてみましょう。

右の写真は、清里高原の山梨県北杜市大泉町にあるナカジマファームの畑。茨城県総和町に本部をおく（有）茨城白菜栽培組合の契約栽培圃場です。茨城白菜栽培組合は、関東地方および山梨・長野県の生産者グループと契約して、おいしく品質のよいハクサイを一年中出荷している会社で、良質堆肥と有機質肥料を組合から農家に提供し、土壌診断にもとづく土づくりと施肥、栽培指導を行なうなど、品質向上・健全生産をめざしています。



清里高原のハクサイ畑。8月の出荷前（管理している三瓶さん）

ここの畑を管理している三瓶さんに、よく育ったハクサイ畑で気に入った株を選んでもらったのが



元気で充実したハクサイ



割って中を見ると充実



根がしっかり土をつかんでいる



軟腐病も発生し弱ったハクサイ



割って中を見るとスカスカ



土をつかむ細根・根毛がない

上段の写真です。球が大きく頭を握ると弾力があります。二つに割ってみると、たくさんの葉がきれいにでてよくしまり、中の葉がみずみずしい黄色です。

一方、ところどころに軟腐病が見られるなど生育が悪い畑のハクサイは、下段の写真のように球が小さく、葉数は少なく、すき間が多くてしまりとみずみずしさに欠けます。